

神奈川県立保土ヶ谷養護学校学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和3年度 第1回 ほどう協議会		
開催日時	令和3年5月11日(火)		
開催場所	書面開催		
出席者	委員：10名 事務局：13名		
次回開催予定日	令和3年9月29日(水) 午前10時00分～11時30分 於：舞岡分教室		
問い合わせ先	神奈川県立保土ヶ谷養護学校 副校長 山崎 嘉信 TEL 045-714-0581 FAX 045-742-9716		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	/
審議(会議)経過	<p>* 議題について書面でいただいた意見及び承認</p> <p>① 令和2年度施設等整備実績報告 【承認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営に必要な施設等整備は、今後とも躊躇なく実行をお願いいたします。(B委員) ○ トイレも改修され使いやすくなりましたね。体育館の空調設備まで手が回らないとは思いますが、酷暑に酷寒は障害のある子どもたちには厳しいものがありますね。何とかならないのでしょうか。(C委員) <p>② 保土ヶ谷養護学校 学校運営協議会運営要項(案) 【承認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第2条が存在しない。通常は、条文を詰めて標記すべき。第6条第2項と第3項が逆に表記されています。(B委員) <p>③ 令和3年度学校運営協議会運営計画 【承認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第4回学校運営協議会の議題項目の表記が「令和3年度学校運営協議会運営計画の説明と承認」となっており、年度表記が間違っています。 <ul style="list-style-type: none"> ・第2回以降の日程もあらかじめ決めて頂くと幸いです。(B委員) ○ コロナの状況を見ながらよろしくお願いします。(I委員) <p>④ 「学校評価部会」活動計画 【承認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ なし 		

⑤ 「切れ目ない支援部会」活動計画 【承認】

- コロナ禍の中、「学校間交流」及び「地域との交流」の企画が大変だと思いますが、今後の「ライフステージに応じた支援力向上」への取組は大切なので、少しずつでも活動ができればと祈っております。(B 委員)

⑥ 「農園活用部会」活動計画 【承認】

- 農園活動もだんだん充実してきましたね。地域の資源活用も工夫され良い方向だと思います。地域にどのような資源(人材を含む)があるのか、そのためにもネットワークを構築することは重要な課題の一つだと思います。腐葉土作りも専門家にアドバイスを頂いたようですね。とても良いことと評価します。作物づくりの基本は土づくりですからね。(C 委員)
- 昨年度の第4回学校運営協議会にて議論した通り、今年度組織化の上、具体的な活動の運びとなり本当にありがとうございました。(B 委員)
- 本校でも生活科で「地域商店」で購入した苗を育てています。何か連携できることがあるとよいなと思っています。(F 委員)
- 前年度校長先生が話していた問題点はその後どうなったのでしょうか？(水路や重機が学校内に入れない) (I 委員)

⑦ 令和3年度学校目標 【承認】

- アセスメントについては研修の積み重ねで、職員一人一人のスキルアップにつながったことと思います。個のニーズに合わせた教育実践につながることを願っています。引き続き研鑽を積み重ねますように。(C 委員)
- 身につけたい力と具体的な活動が結びつくと分かり易くて良いですね。保護者も具体的に理解しやすいと思います。保護者がどれくらい理解できているかアンケートで知ることも大切ですね。理解しやすく視覚的に分かり易いイラスト等用いることもより効果的だと思います。(C 委員)
- 学校も働きやすいように環境を整え見直すことも必要でしょうか。福祉の現場では働き方改革の導入で公務や残業の見直しをはじめ、職員の意識も少しずつ変わっています。学校は中々難しいと思いますが今後の課題でしょうか……。 (C 委員)
- コロナ禍にあって難しいと思いますが、学校へ行こう週間など活用し 第三者に学校を見ていただく機会が多くあると良いですね。(C 委員)
- 「ぎんなんフェスタ」もなくなり卒業生も再開されることを願っているようです。再開されるよう検討の余地はあるのでしょうか、現在 PTA 組織はどのようになっているのでしょうか。(C 委員)

- 資料8「グランドデザイン」について
 - ・ 学校づくりの方針の下に、取組が明記されているが、その内容が、より具体的な表記となっており、人材育成の意欲が感じられます。(B委員)
- 資料9「4年間の目標と主な方策」について
 - ・ 4年後の具体的な達成像(ゴール)を明記し、それに向かって各年毎の計画を明記することにより、達成のプロセスが分かりやすくなったと思います。(B委員)
- 資料10「学校評価報告書」について
 - ・ 事故が起こりやすい場面の確認、事案の共有ができたかについて、それぞれをどのように評価するか評価指標の検討が必要と思います。(A委員)
 - ・ 評価の観点でなぜ80%の設定かの理由を教えてください。(A委員)
- 具体的な方策の妥当性を図る指標として、個人の自己評価の総和に対して、統計的に妥当性があると判断される検定力0.8を援用しました。
 - ・ 各観点での「1年間の目標」について、より一層食い大敵に記入されており、取組むが意欲的に感じられます。(B委員)
- 本校でも支援を要する児童の公道観察がますます重要になっています。
 - ・ アセスメントの具体的な内容や活用について、職員研修等をしていただける機会があるとよいと思います。(F委員)
- 防災訓練については、地域防災訓練参加も効果あると思います。(G委員)

■ その他ご意見・ご質問

- ホームページは学校の顔 いつも最新の情報が提供され楽しみに読ませていただいています。大変かと思いますが、これからも最新情報の更新よろしくお願いします。
- 現在 権小、境木中、光陵高との交流は実施されていますね、今年あたり(コロナが収束後)卒業生とスポーツ交流(ボッチャ)などできるとよいですね。在校生と先輩社会人の交流があってもよいのではないのでしょうか。(C委員)
- 全体として、神奈川県下で模範となるような学校運営協議会になっていると思います。本当にありがとうございます。(B委員)
- コロナ禍が続く中、感染防止策を講じながら教育活動を行うご苦労もあろうかと思えます。教職員のみなさまにおかれましては、無理をなさらず、お互いにサポートし合いながら、子どもたちを支えていただければと思います。(E委員)

以上